

# 村上 常雄 議員



## (二括質問方式)

①「大洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定

②えひめ国体、えひめ大会

③教育問題

④道路問題

⑤マイナンバー制度

⑥空き家対策

⑦観光振興

## 道路問題について

### 問

松山自動車道の松山インターチェンジ以南と大洲道路の4車線化を求める期成同盟会の設立総会が中予13人の首長の出席に

より大洲市役所で開催され、発起人である清水市長が会長に選任されたとのニュース報道があった。大規模災害やあってはならない万が一の原発事故の避難ルートを確保するためにも、ぜひとも4車線化の早急な実現を図ってほしいと考えているが、市長の所見をお伺いする。

### 答

九州ー四国間のフェリーを利用した貨物輸送量は、平成12年に比べ約8割増加している状況であり、松山ー大洲間の高速道路は、地域高規格道路大洲・八幡浜自動車道との接続や高速道路のさなる南予延伸による四国全域の観光、物流、交流の活性化により、ますます重要な役割を担ってくるものと考えています。

現在、四国における4車線化整備としては、高松自動車道の整備が進められているところですが、松山自動車道・大洲道路についても、早期整備について国、関係機関へ強く要望していきたいと考えています。

## 空き家対策について

### 問

平成27年に空家対策特別措置法が施行され、新年度予算案にも空き家等対策事業費が計上さ

れているが、本市の空き家の状況と今後の展望、そして本市として空き家対策を今後どのように進めていくのか。

### 答

27年度から2カ年をかけて市内全域で空き家の調査を進めています。今年度、調査を実施した市内中心部の7自治会においては空き家総数が526戸、修繕や解体などの緊急度が高いと判定した空き家が134戸となっています。

これらの空き家の撤去を推進するため、国、県の補助事業を活用した危険空き家除去事業補助金要綱を制定し、来年度から除却費用の一部を補助する予定です。

また、空き家バンクや町家バンクといった仕組みも必要となりますので、関係事業者と連携を図りながら、有効な仕組みを立ち上げていきたいと考えています。

## 観光振興について

### 問

新年度の予算案において、うかい観光活性化事業として平成29年に本市で開催される全国鵜飼サミットや観光うかい60周年記念事業に向けての準備などが計上されている。観光うかいは本市にとって大変重要かつ貴重な文化資

源である。一過性のイベントに終わらせず、市民が楽しんで集うことはもちろん、人が集い、交流人口がふえるものにしていただきたいと願っているが、観光うかいの今後の展望や取り組み方針について所見を伺いたい。

### 答

うかいの利用者の推移については、ピーク時であった昭和50年前半には約2万5,000人でしたが、現在は年間約5,000人余りとなっています。屋形船についても、昭和49年の65隻をピークに現在は26隻まで減少しているのが現状です。

減少傾向に至る要因としては、景気や人口減少などがあると考えており、従来の仕組みや利用料金を改めながら新たな魅力の創出にも取り組んでいるところです。観光うかい60周年記念事業及び全国鵜飼サミット開催の目玉に上げている新しい屋形船の造船については、これまでの屋形船とは違う旅の高揚感に比べられる誰もが乗ってみたいすてきな船をつくりたいと考えています。

伝統のうかいを大切にしながらも、新しい魅力を付加した個性的なワンランク上の大洲のうかいを育て、提供していきたいと考えています。